

日時：1月17日(日) 曇り後雨

参加：岡本(L)、佐々木(記)

榛原駅8:30集合、岡本さんの車で出発。樹氷バスも暖冬で、心なしか寂しいようだ。左右に大きな民家や山小屋風のバンガローが並ぶ綺麗な道を抜けて、高見平野バス停、村営「たかすみの湯」前の駐車場に9時前着。すでに30台程の駐車がありシーズン真っ盛りを呈すが、今日は雪と樹氷は期待できそうに無さそうだ。

準備を終え高見山頂まで標準タイム2時間半の登りを、いくつかのパーティーと共に出発(9:05)。まずは平野川を渡り、細い山道から木の階段道をこなして進むと、雑木林の間から木洩れ陽が差し込む。程なく樹齢700年と言われる高見杉着(9:45)。

落ち葉や大岩の道をこなして登り切ると、杉谷平野分岐となる(10:15)。最後の登りはキツイ箇所がある。分岐には、高見登山口からのパーティー他が大休止である。我々も一服。

例年ならば、ここから山頂までは樹氷の綺麗な尾根道である。

今日はやはり、少し雪がついている程度で春の陽気だ。少しキツイ山道をこなして、いわれのあ

る岩を見ながら40分、

高見山山頂(1248.3m)着(10:55)、

たくさんのパーティーと360度(北に曾爾の山々、南に大峰、台高の山並み)の眺めを楽しむ。昼には少し早いですが、軽く腹ごしらえしてピストンで下山にかかる(11:20)。所どころの雪に、足を取られないよう慎重に下り、駐車場着(12:55)。

足腰の不調にもかかわらず、すこぶるハイペースの岡本リーダーに引っ張られて、足を引っ張りながらも、けっこう早く余裕の時間に下山できました。

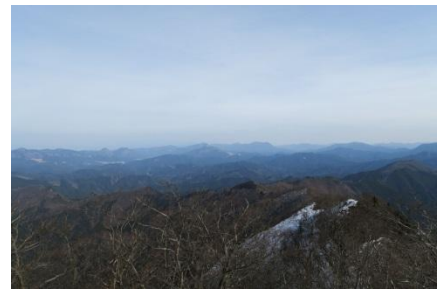
帰りは、大和高田まで送ってもらって解散。ありがとうございました。



(雪の無い尾根道)



(高見山山頂)



(山頂から曾爾高原方面)